

2019年度第6回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2019年12月10日（火） 午後6時30分から
- 2 場 所：国分寺労政会館 第2和室（3階） （国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：7名
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、堀 渡
欠席者：手嶋孝典、堀越洋一郎
事務局員の参加者：

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2019年12月10日現在
正会員83名2団体 賛助会員44名1団体、計127名3団体（合計130）
（前回理事会時の報告と変更なし）

（2）第2号議案 全国公共図書館協議会への要望書の送付について【報告】

- ・前回理事会で文面を議論した全国公共図書館協議会（全公図）に対する要望書を、11月21日付で全国公共図書館協議会へ送付した。
- ・なお要望書の文面と趣旨等は、11月15日に発行した『多摩デポ通信』第52号に掲載し、会員に周知した。

（3）第3号議案 第37回多摩デポ講座の実施結果について【報告】

- ・「水濡れから本を守ろう、紙を救おう～災害多発の今、知っておきたい知恵と技～」
講師：眞野節雄氏（都立中央図書館職員、日本図書館協会資料保存委員会委員）
- ・予定通り講座を開催した。日時：12月7日（土）午後6時30分～9時、会場：国分寺労政会館第3会議室（3階）・参加費：500円、事前申込不要で行った。
- ・参加者は全38名、会員は18名（うち理事・事務局員9名）だった。現役職員の割合も比較的高く、多摩地域からだけでなくあちこちから人の集まる会となった。会のテーマや講師の名に敏感に反応して、遠方からも参加していただけたのだと思われる。
- ・眞野講師のお話の内容は大変充実していた。古文書などの文化財資料や、書庫にあらかじめ別に保存してあるような貴重資料ばかりが補修の対象ではないこと。日常的に利用者に貸出ししている市販資料にも予防的な水濡れ対策は必要だし、水濡れしてしまった場合にも補修や修復の発想や技術が必要ということで、具体的なやり方についても実演も含めて教えていただいた。できることが多いことが分かった。
- ・水濡れした後で張り付いてしまう塗工紙の例はどの図書館でも経験していることだが、それを取り上げ、救い方を示されたのは画期的だったのではないか。
- ・販売 → ブックレット14号1冊
- ・終了後、講師を囲んで懇親会を行った（参加者10名）。

(4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・12月11日(水)に定例会を行う。以下のことを予定している。
- ・春に行った「多摩地域公共図書館蔵書確認システム(TAMALAS)個別処理システムの活用に関する調査」で出されてきた質問、要望をもとに改善している点の検討を行う。
- ・宿題である、サポート画面の置き方について。問い合わせは、いったん多摩デポホームページで受けて、その後カーリルの対応とする方向で整理する。
- ・一括処理システムの利用状況の聞き取りについては、12月18日の「除籍資料担当者会」で当該図書館の職員から状況把握をしてみたい。
- ・その他、「除籍資料担当者会」準備の打ち合わせを行う。
- ・カーリルのオープンブックカメラ(OBC)が、多摩地域では広汎な図書館で所蔵するがISBNが付与されていないことの多い(書誌が各市で別れがち)地域資料の同定識別に活用できるのではないかと研究している。OBCでの資料同定の実証実験(8月27日、調布市立中央図書館で、多摩川を主題にした地域資料を撮影)については、カーリルから整理したデータが出てくる予定である。

(5) 第5号議案 東京都市町村立図書館長協議会除籍資料担当者会への協力について【報告・協議】

- ・令和元年度第一回の除籍資料担当者会は、12月18日(水)14時~16時(西東京市中央図書館併設の田無公民館3階視聴覚室)で開催が予定されている。(別紙資料参照)
- ・この会にカーリルと多摩デポが呼ばれている。多摩デポの活動とTAMALASシステムについて、デモを交えて説明し、質疑も受ける。改良した新バージョンも紹介する。
- ・多摩デポからの参加者は、座間、堀、堀越の予定。
- ・11月のカーリルとの研究会で提案された、多摩地域の各自治体が採用している図書館システムの調査、可能ならどこかのSEの方に来てもらうことについては調整中とのこと。
- ・この日、可能なら「一括処理システム」ID、パスワードを発行している自治体の担当者の方に、活用実態について伺ってきたい。

(6) 第6号議案 第38回多摩デポ講座について【報告・討議】

本年度3回目となる講座の企画について

- ・国分寺市に移転してくる東京都公文書館の建物が、都立多摩図書館の南側に外観上はほぼ出来上がっており、現在、資料の移送・搬入等の作業中かと思われる。開館すれば見学会を開催したいと考えていたが、都のホームページなどを見ると「開館は2020年4月1日」との告知があり、早まることはないと考えられる。他の企画を考えなければならないが、事務局会議では案が用意できなかった。
- ・本日の理事会でいくつかの案を議論したが決定には至らず、事務局でさらに検討して提案することになった。
- ・開催時期は、2020年2月中旬~3月上旬頃を予定する。

(7) 第7号議案 2020年度通常総会に向けた検討について【報告・討議】

- ・財政見通しと会費値上げ問題については、前回理事会で当面現状のままで行くと結論が出て、そのことは会員には『多摩デポ通信』第52号でお知らせした。
- ・総会の日程
 - ・3月31日の年度終了後に行わなければならない決算業務にかかる時間の問題があり、例年会場としている国分寺労政会館の来年5月の休館日の日程を勘案して、2020年5月31日(日)に開催することに決定する。会場予約は2月からだが、速やかに申し込みをすることにする。決まったら早く会員に日程を知らせるようにしたい。
- ・理事の補充について
 - ・今年度総会では矢崎省三氏が理事を退任したが、議論が間に合わず、補充候補を提案できなかった。欠員が生じているわけではないが、将来のこともあるので、理事候補を提案できるようにしたい。人選についても検討したが結論は出ず、継続審議となった。
- ・記念講演会の企画・講師の人選
 - ・いくつか案が出たが決定に至らず、次回理事会で議論できるよう、引き続き検討を進める。

(8) 情報交換

①メールリングリストの引っ越しが終了した。

- ・引っ越し後にメールが届かない人が25人出てきた。その後の調査で登録アドレスの誤記が分かったり、新アドレスが判明した人もいるが、なおアドレスが不明な人もいる。最終的な不明者については、『多摩デポ通信』次号に問い合わせの文章を同封する予定。

②「令和元年度 東京都多摩地域公立図書館大会」がPRされ始めている。

- ・日程：2020年1月28日(火)～30日(木)、会場：都立多摩図書館

③「多摩デポ」が後援した「竹内哲氏講演会」が10月20日(日)に開催され、定員120人を超える方が集まり盛会だった。多摩デポの活動やブックレット一覧を掲載したチラシを配り、ブックレット販売も行った。(販売実績：5号4冊、10号1冊、14号2冊)

④出版ニュース社が所蔵していた図書(事務所保管分)のその後について

【多摩デポ記事】

- ・本の紹介『図書館づくりの現況から「保存」を考える』渡辺百合子『としょかん』151号 2019年11月1日 p.19 (としょかん文庫・友の会)

【共同保存図書館関連論文】

- ・高橋菜奈子ほか著「千葉大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学 三大学図書館間連携の5か年」大学図書館研究. 2019. 8, (112), p.2035-1~2035-9

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcul/112/0/112_2035/_pdf/-char/ja

- ※電子ジャーナルでダウンロード可能な雑誌の紙資料を対象にシェアードプリントの実験を行ったことについての項がある

★ カーリルとの共同研究 第43回定例会 12月11日(水) 午後6時30分～

会場：国分寺労政会館 和室2

★ 事務局会議(2019年度第9回) 12月20日(金)午後6時30分～
会場: 調布たづくり 11階みんなの広場 第6テーブル

★ 次回の理事会 第7回理事会 2020年2月6日(木) 午後6時30分～ 会場未定

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、清田義昭理事、齊藤誠一理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2019年12月10日

議長

議事録署名人

議事録署名人